

復命書

2009年6月16日

新政会 代表
望月 厚司 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2009年6月14日 pm: 30から4:30	
2 視 察 先	都 市 名 (1) 視 察 先 施 設 等	子どもの言語力向上のためのワークショップ 主催 財団法人 文字・活字文化推進機構 会場 長野県JAビル
	(2) 対 応 者	北川達夫 日本教育大学院大学客員教授
3 目 的	4年前に視察したフィンランドの教育メソッドに共感するものがたくさんあったのですが、そのフィンランドの教育レベルを表すPIISA型教育の特に読解力のワークショップで、これから、言語力検定を初めていくとの情報だったので是非情報収集したいと思い参加した。常日頃、言語力向上のツール探しをしていたのでかなり興味を持って参加したいと思った。	
内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>「子どもの言語力向上のためのワークショップ」 ～PIISA型読解力の向上のための指導法～ 日本教育大学院大学客員教授 北川達夫 氏</p> <p>言語力を養う基本は本や新聞を読む読書習慣であることと、子どもの言語力向上の意義とそのための読書法・指導方法などが講義された。この10月に第1回の言語力検定の3級をスタートさせるとのことだ。</p> <p>言語力検定とは。。。</p> <p>学力向上につながる検定・イラストやグラフを読む・正解がある検定・自分の意見を述べる・世界に通用する力を養う・一人ひとりの採点結果が出る・興味を持って取り組める問題・頭を柔らかくする検定・一夜漬けができない検定・対策は本や新聞を読</p>	

	<p>むこと</p> <p>50分で・3,4級中学高校レベルの検定内容・検定料一人2000円・読み、書き、考える、伝える力を試す検定試験</p>
5 成果・市政への反映等	<p>実施する条件や、その成果など課題もあると思われるが、一考の価値ありと思いワークショップに参加した。実際高校生レベルの問題に挑戦したが簡単ではなかった。思考回路を変える必要性も面白いと思った。市内全域での実施は難しいこともあるとは思いますが、学力向上の一助に成り得るので、ぜひ関係当局へ働きかけたい。</p>